

長野県飯田市野底川小水力発電の地域共生促進事業

1. 補助事業の目的

野底川小水力発電所について、地域住民より発電事業の影響に対する懸念、及び環境学習に資する施設にしてほしいという要望を頂いている。長きに亘って安定的に発電事業を継続できるよう、地域に根差した住民参加型の発電事業として実施していくため、住民の声を反映した環境整備を実施し、地域と共生する事業の実現を図ることを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

野底川市民発電株式会社

(2) 事業期間

令和4年11月29日～令和5年2月20日

(3) 対象地域

長野県飯田市

(4) 対象地域の状況

長野県飯田市は県南部の中心自治体で、他地域と同様に人口減少、少子・高齢化が進行し、地域活力の向上や持続的な地域づくりが大きな課題となっている。一方、地域独自の取組として再生可能エネルギーの普及やごみ分別実施など、先駆的な環境事業を官民挙げて推進してきた。平成24年「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を制定し、住民団体が主体的に取り組む再エネ事業を行政や専門家、地域金融機関等からなる支援組織が後押しする仕組みも構築した。

市内には一級河川・天竜川に注ぐ河川が多数あり、県営水力、中部電力株式会社のダム発電などが存在する。野底川小水力発電所を計画している野底川は、飯田市上郷地域の農業用水源となっている。

(5) 対象発電所

水系・河川名 天竜川水系・一級河川 野底川
発電所名 野底川小水力発電所
事業者 野底川市民発電株式会社
出力 340kW

3. これまでの取り組み状況と課題

構想当初の平成29年より地域住民、地権者、漁業協同組合、森林関係者等のステークホルダー及び飯田市に、開発工程の節目ごとに当社代表と事業担当者から進捗状況等を報告し、必要な承を頂いてきた。令和2年度には、水力発電の導入促進のための事業費補助金（地域理解促進等関連事業）により、小水力発電に対する理解度の向上、野底川において小水力発電事業が可能であることへの理解度の向上、地球温暖化や地域経済の活性化など、小水力発電が地域にもたらす便益に対する理解度の向上といった効果を得ることができた。また、特に地域の子どもたちを対象とした環境学習に資する発電所とするようにして欲しいという前向きな要望も頂いてきた。

一方で、野底川は農業用水の取水が行われるなど生活に身近な場所であることから、住民からは発電事業による影響がないか懸念の声もあがっていた。

4. 実施概要

野底川小水力発電所が環境学習の場として活用できるよう、住民の声をヒアリングしながら内容について詳細検討し、発電所の仕組みや環境へのメリット等を分かりやすく伝えるPR看板を製作・設置した。

1) 野底山森林公園内

内容：小水力発電所の意義、野底川小水力発電所の概要の説明

2) 取水設備

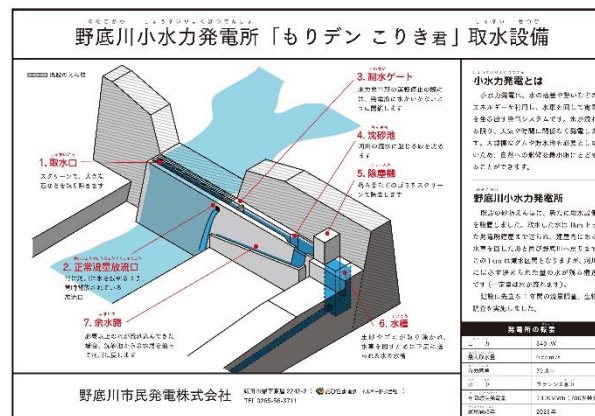
内容：取水設備の役割、構造の説明

3) 発電所建屋

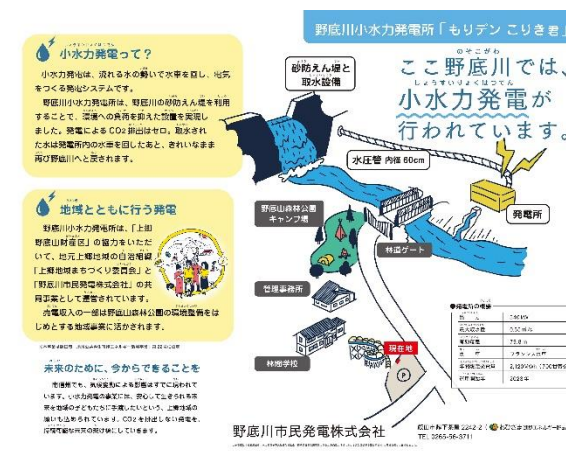
内容：発電設備の全体像、並びに、建屋内に設置された機器の説明



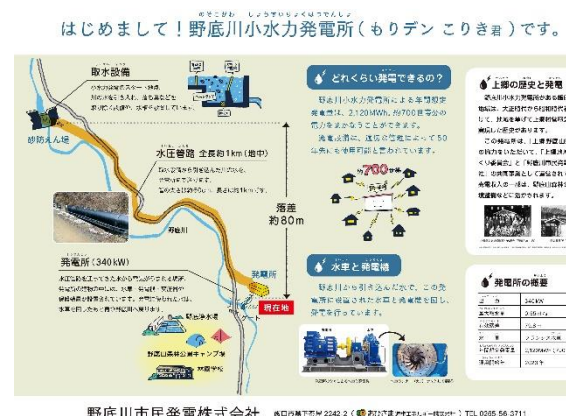
野底山森林公園内のPR看板（全景）



PR看板②：取水設備地点



PR看板①：野底山森林公園内



PR看板③：発電所建屋地点

5. 得られた効果

地域住民との看板設置に向けた協議を通じて、小水力発電事業への理解を深めるとともに、発電事業への懸念を払しょくし、環境学習に資する看板を設置することができた。地域住民の意見を反映することで、当該発電事業への理解獲得に加え、長期的な事業運営に不可欠な地域と共生する発電所づくり、環境学習につながる内容とすることができた。

看板設置により、地域住民からの理解が今後広く定着することで、長期的には発電所の運用の共同実施など、長期にわたり地域と共に発電所を見守る体制の強化に繋がっていく。